



Release Notes—Ki Pro Mini version 2.6

このバージョンは、Ki Pro Miniに改良された最新の機能を提供します。特徴と設定についてはクイックスタートガイドとインストレーション&オペレーションユーザーガイドを参照して下さい。（これらのドキュメントは、製品に同梱されるCDに収められています）

新機能

- ・新しくCAMERA DATAパラメータ（13.1）が追加されました。対応のカメラから出力されるSDIアンシラリデータの読み込みに対応します。
例：スタート/ストップコマンド、タイムコード、リール名、クリップ名、テイク番号など。

この機能がサポートする最初の機種は下記のとおりです。

- ・ RED Epic（ファームウェアバージョン1.6.24以降）
- ・ RED One（ファームウェアバージョン31.6.16以降）
- ・ Canon XFシリーズ（SDI出力を搭載したモデル）

※REDカメラで使用する場合はファームウェアバージョンにご注意ください。

改良と修正点

- ・ 混乱の元になるため、カスタムクリップ名のCUSTOM CLIP TAKEパラメータは除外されました。バージョンアップ後もカスタムクリップ名を使用することは出来ますが、テイク番号は自動で付加されるようになります。

本バージョンにおける制限事項

- ・ Ki Pro Miniは、パナソニック ビデオカメラの720p VFR（720p 23.98/59.94, 720p 29.97/59.94 and 720p 25/50）の大部分をサポートします。しかし、AG-AF100/105に関しては例外で、次の出力以外はサポート対象外となります。AG-AF100/105でサポートされる出力は次の通りです：
1080PsF 23.98, 1080i 25, 1080i 29.97, 720p 50 and 720p 59.94
- ・ Video SG（信号発生器）は、Ki Pro Miniからの映像出力において正しく働きます。しかし、ファイルに記録してFinal Cut Proに読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログ警告を受けるかも知れません。

使用上の注意点

- ・ ファームウェアのアップデートを行った場合、WebブラウザとKi Pro Miniとの接続は解除されます。再接続を行うには、ウェブブラウザのページをリロードして下さい。
- ・ Ki Pro Miniで収録したクリップをFinal Cut Proに読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログが表示される場合がありますが、これらのクリップは問題なくFinal Cut Proで使用できます。
- ・ Ki Pro Miniで収録中にファームウェアアップデートを行わないで下さい。ファームウェアのアップデートは、Ki Pro Miniが停止状態にあることを確認してから行って下さい。